

管

理

編

# 令和2年度 業務推進目標

## 1 防火防災対策の推進

- (1) 防火対象物における防火安全対策の徹底
- (2) 消防広報の推進強化
- (3) 危険物施設等の安全確保の推進

## 2 高度警防・救急業務体制の整備

- (1) 指揮車・村岡出張所広報車の更新
- (2) 化学消防ポンプ自動車の修繕
- (3) 指導救命士を中心とした救急救命士の教育体制の充実
- (4) 救急救命士、認定救急救命士の養成

## 3 災害対応力の充実強化

- (1) 大規模火災防ぎょ計画の推進及び合同訓練の実施
- (2) NET119緊急通報システムの導入
- (3) 集団災害用テントの整備

## 4 業務執行体制・勤務環境の整備

- (1) 消防大学校救助科への研修派遣
- (2) 本部ダイヤルイン番号の導入
- (3) 庁舎の部分的補修
- (4) 香住分署事務イスの更新
- (5) ハラスメント等の撲滅
- (6) 感染症対策の推進

## 1-1 職員の年齢

(R 3. 4. 1 現在)

階級 年齢	年齢分布		総 数	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士長	消 防 副士長	消 防 士	その他 の職員
	5	10								
～ 19			3						3	
20 ～ 21			5						5	
22 ～ 23			4					2	2	
24 ～ 25			6					6		
26 ～ 27			2				2			
28 ～ 29			4				4			
30 ～ 31										
32 ～ 33			3			1	2			
34 ～ 35			3			3				
36 ～ 37			2			1	1			
38 ～ 39			1			1				
40 ～ 41			2			2				
42 ～ 43			5			5				
44 ～ 45			4			4				
46 ～ 47			4			4				
48 ～ 49										
50 ～ 51			5			5				
52 ～ 53			6		2	3	1			
54 ～ 55			3		1	2				
56 ～ 57			9		5	3	1			
58 ～ 59			4	1	3					
60 ～										

## 1-2 職員の勤続年数

(R 3. 4. 1 現在)

階級 勤続年数	総 数	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士長	消 防 副士長	消 防 士	その他 の職員
総 数	75	1	11	34	11	8	10	
5 年 未 満	14					4	10	
5 年以上 10 年未満	8				4	4		
10 年以上 15 年未満	9			4	5			
15 年以上 20 年未満	2			2				
20 年以上 30 年未満	15			15				
30 年 以 上	27	1	11	13	2			

### 1-3 職員の構成及び配置図

(R 3. 4. 1 現在)

階級別 所属別	総 数	消 防 吏 員						
		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
総 数	75 (10)	75 (10)	1	11 (3)	34 (5)	11 (1)	8 (1)	10
消 防 本 部	44 (8)	44 (6)	1	9 (3)	16 (3)	8	3	7
消 防 長	1	1	1					
次 長	1	1		1				
管 理 課	課 長	1	1		1			
	副 課 長	1	1		1			
	課長補佐	1	1			1		
庶 務 係	係 長	(2)	1 (2)		(1)	(1)		
	係 員	4	4			2		2
予 防 課	課 長	1	1		1			
	副 課 長	2	2		2			
	課長補佐							
予 防 係	係 長	(1)	(1)		(1)			
	係 員	3	3			1		2
危 険 物 係	係 長	(1)	(1)		(1)			
	係 員	2	2				2	
警 防 課	課 長	1	1		1			
	副 課 長	2	2		2			
	課長補佐	2	2			2		
警 防 係	係 長	1 (1)	1 (1)			1 (1)		
	係 員	9	9			2	2	5
救 急 係	係 長	1 (1)	1 (1)			1 (1)		
	係 員	7	7			2	4	1
通 信 係	係 長	2	2			2		
	係 員	2	2			2		
香 住 分 署	18 (4)	18 (4)		1	11 (2)	3 (1)	2 (1)	1
分 署 長	1	1		1				
予 防 係	係 長	1	1			1		
	係 員	(4)	(4)			(2)	(1)	(1)
当 務 隊 長 ※	2	2			2			
警 防 係 長	2	2			2			
警 防 係 員	5	5			3	1	1	
救 急 係 長	2	2			2			
救 急 係 員	5	5			1	2	1	1
村 岡 出 張 所	13	13		1	7		3	2
出 張 所 長	1	1		1				
警 防 係 長 ※	2	2			2			
警 防 係 員	10	10			5		3	2

※ 消防本部警防課課長補佐兼務

( ) 内の数字は他の係を兼務する人員

# 1-4 消防吏員の取得資格・免許

(R 3. 4. 1 現在)

資格・免許別		階級別		総 数	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士	
車 両	普 通 1 種			75	1	11	34	11	8	10	
	中 型			19			4	7	7	1	
	大 型 1 種			45		11	30	4			
	大 型 2 種										
	けん引 1 種										
	けん引 2 種										
	大型特殊 1 種			7		2	5				
	大型特殊 2 種										
無線	陸上特殊無線技士			73	1	11	34	11	8	8	
	アマチュア無線技士			13	1	3	7	2			
危 険 物	甲 種										
	乙 種	第 3 類									
		第 4 類			32		4	17	4	3	4
		第 6 類			3		1	1	1		
丙 種			13	1	5	5	2				
消 防 設 備 士	乙 種	第 4 類									
		第 6 類			9	1	4	3	1		
		第 7 類									
予 検 防 技 術 定	防 火 査 察			8			5	3			
	消 防 用 設 備 等			4			2	2			
	危 険 物			3			3				
指 導 救 命 士			2			2					
救 急 救 命 士			29	1	3	19	6				
	認 定 救 急 救 命 士		26	1	3	17	5				
J P T E C			38	1	6	20	6	3	2		
I C L S			36	1	4	21	5	4	1		
M C L S			21	1	6	13	1				
小 型 船 舶 操 縦 士			11		1	8	1	1			
潜 水 士			41	1	10	28	2				
ウ ォ ー タ ー ダ イ バ ー			19		3	15	1				
小 型 移 動 式 ク レ ー ン			1			1					
玉 掛 け 技 能 講 習			1			1					
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			31	1	8	17	5				
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者			4			4					
衛 生 管 理 者			1		1						
安 全 衛 生 推 進 者			1	1							

1-5 職員研修・教育

(R3.4.1現在)

教育内容		累計 修了者数	2年度 修了者 数	教育内容		累計 修了者数	2年度 修了者 数	
総 数		564	12					
消 防 大 学 校	総合 教育	本科		消 防 学 校	幹 部 教 育	初級幹部科	7	
		上級幹部科				中級幹部科	6	
		幹部研修科				上級幹部科	1	
	専 科 教 育	警防科	2		特 別 教 育	災害現場指揮科	4	
		予防科				はしご自動車科	13	
		救急科				潜水科	9	
		救助科	3			ポンプ <small>小型</small> 操 <small>自動車</small> 法 <small>講習会</small>	12	
	火災調査科				救急救命士追加講習 (認定救命士にかかる講習)	26	1	
	消 防 学 校	初任教育	73		3	救急救命士養成課程	29	1
		専 科 教 育	警防科		16	1	指導救命士養成研修	2
特殊災害科			11		研 修	山岳救助技術研修	13	1
予防査察科			10			救助技術研修	11	
危険物科			11	1		通信担当者研修	4	
火災調査科		17		そ の 他 の 研 修	兵庫県市町振興課研修	58		
救急科		73	3		IT研修 (パソコン・ホームページ)	73		
救助科		28	1		緊急自動車 運転者特別研修	40		

※現職者のみ集計

## 1-6 令和2年度 消防関係予算 歳入歳出決算額

(単位：円)

項 目		決 算 額	予 算 額	備 考
歳 入	分担金及び負担金	687,690,000	687,690,000	
	使用料及び手数料	767,800	401,000	
	財 産 収 入	33,096	34,000	
	繰 入 金	0	0	
	繰 越 金	0	0	
	諸 収 入	2,295,935	2,297,000	
	合 計	690,786,831	690,422,000	
歳 出	常 備 消 防 費	663,637,749	675,140,000	翌年度繰越額 7,621,000
	消 防 施 設 費	14,071,390	14,086,000	
	老 人 福 祉 費	166,008	169,000	
	公 債 費	1,026,793	1,027,000	
	合 計	678,901,940	690,422,000	

## 1-7 令和2年度 消防関係予算 性質別歳出決算額

(単位：円)

項 目	決 算 額	比 率	備 考
人 件 費	583,760,979	86.0%	
物 件 費	57,984,416	8.5%	
維 持 補 修 費	4,878,520	0.7%	
補 助 費 等	5,841,536	0.9%	
普 通 建 設 事 業 費	19,146,600	2.8%	
公 債 費	1,026,793	0.2%	
積 立 金	33,096	0.0%	
扶 助 費	6,230,000	0.9%	
合 計	678,901,940	100.0%	

## 1-8 消防職員委員会の運営状況

### 1 職員からの意見提出件数

意見の区分 (消防組織法第17条第1項及び美方広域消防本部消防職員委員会運営規程に基づく)	令和元年度 提出意見数	令和2年度 提出意見数
提出意見件数	3	4
1 消防職員の勤務条件及び厚生福利に関すること	2	2
2 消防職員服務遂行上必要な被服及び装備品に関すること	1	1
3 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設に関すること		
上記区分以外の意見		1

### 2 消防職員委員会の構成及び意見取りまとめ者 (R3.4.1現在)

委員会の構成	委員長	消防長指名	職員推薦	意見取りまとめ者
合計	9	4	4	4
管理職	3	1	1	1
管理職以外	6	3	3	3

### 3 令和2年度 消防職員委員会の開催状況・回数

委員会開催時期	合計	年度前半	年度後半
委員会開催回数	1	1	

### 4 令和2年度 消防職員委員会の審議結果

審議結果の区分 審議された意見の区分	実施が 適当である	諸問題を検討 する必要がある	実施は 困難である	現行どおり でよい	その他
合計	1	2	0	0	0
1 消防職員の勤務条件及び厚生福利	1	1			
2 消防職員服務遂行上必要な被服及び装備品		1			
3 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設					
審議対象外					

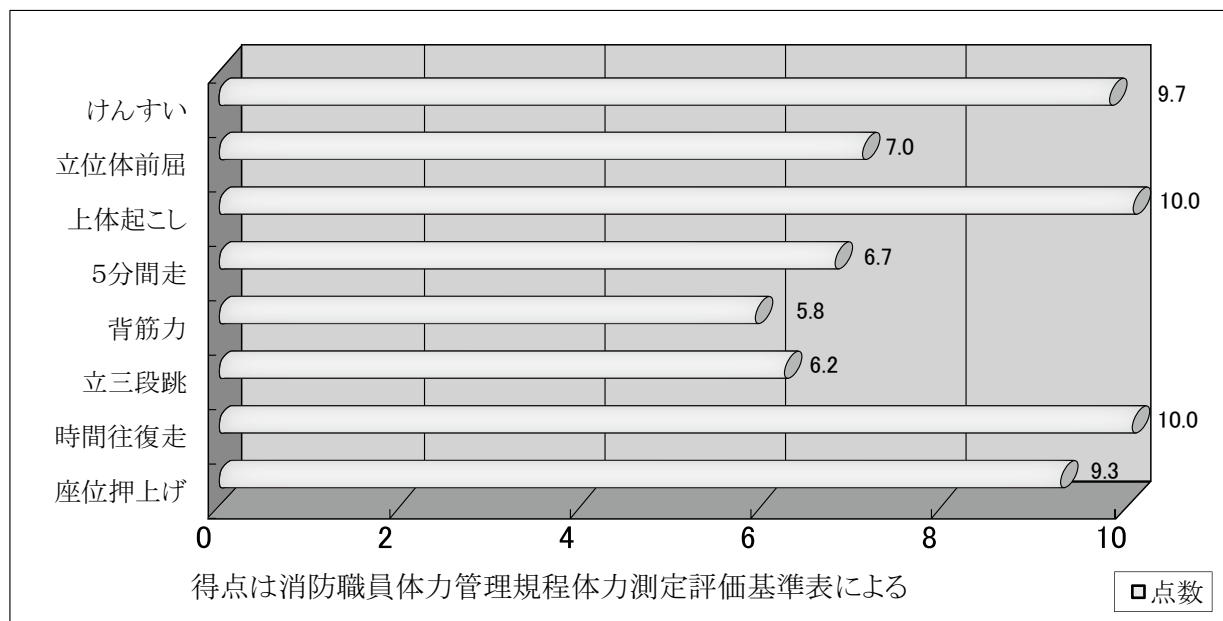
### 5 令和2年度 消防職員委員会の審議結果に対する消防長の処置結果

審議結果の区分 審議された意見の区分	実施を 決定	実施に 向け検討	諸問題 を検討	実施は 困難	現行 どおり	対応を 未決定
合計	1	1	1	0	0	0
1 消防職員の勤務条件及び厚生福利	1	1				
2 消防職員服務遂行上必要な被服及び装備品			1			
3 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設						



## 1-9 職員の体力測定

令和2年10月26日、27日両日に実施した職員の体力測定の結果(平均)を10点満点のグラフに表しました。



### 各種目の平均・最高値

(平均年齢 40.7 歳)

種目別	平均値	最高値	10点認定値
けんすい(回)	15.8	30	16
立位体前屈(cm)	14.3	25	22
上体起こし(回/30秒)	32.1	43	30
5分間走(m・屋内80m周回)	1,239	1,600	1,450
背筋力(kg)	169.0	195	207
立三段跳(m)	6.7	8.0	7.8
時間往復走(m/15秒)	51.9	60	47
座位押上げ(回/30kg)	21.5	30	25

### 級別認定基準・分布状況 (%)

級別	認定基準	分布状況 (%)
1級	総合得点 72点以上 種目別必要点 5点	11.0
2級	総合得点 56~71点 種目別必要点 4点	70.0
3級	総合得点 40~55点 種目別必要点 3点	15.0
4級	総合得点 24~39点 種目別必要点 2点	0.0
5級	総合得点 9~23点 種目別必要点 1点	0.0
6級	総合得点 8点以下	4.0

10点認定値とは種目別に設定された最高点必要値。この値は年齢により推移するもので、全年齢中の最高値を記載。

## 1-10 情報公開の開示状況

情報公開条例第33条第2項による情報公開の概要は次のとおりです。

(R2.4.1~R3.3.31)

開示請求件数	2件
--------	----

そのうち

開示	1件
一部開示	1件
非開示	0件